

第七十五回帝國議會
衆議院

會計検査院法中改正法律案委員會會議錄(速記)第二回

會議

昭和十五年三月四日(月曜日)午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 古屋 慶隆君

理事木原 七郎君 理事金澤 正雄君

理事淺井 茂猪君

清水徳太郎君 長井 源君

金井 正夫君 星 一君

木村作次郎君 庄司 一郎君

服部 岩吉君 小田 榮君

三月二日委員泉國三郎君、村瀨武男君、松

井郡治君及眞鍋勝君辭任ニ付其ノ補闕トシ

テ星一君、長井源君、則元卯太郎君及福田

關次郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

三月四日理事松井郡治君ノ補闕トシテ則元

卯太郎君理事ニ當選セリ

三月二日裁判所構成法中改正法律案(政府

提出)及恩給法中改正法律案(政府提出)ノ

審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 木村 尙達君

出席政府委員左ノ如シ

内閣恩給局長 平木 弘君

法制局長官 廣瀬 久忠君

法制局參事官 樋員 詮三君

司法政務次官 星島 二郎君
司法參與官 子爵高木 正得君
司法省民事局長 坂野 千里君
司法書記官 石田 壽君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

會計検査院法中改正法律案(政府提出)

委託又ハ郵便ニ依ル戸籍届出ニ關スル法

律案(政府提出、貴族院送付)

大正十一年法律第五十二號中改正法律案

(統計資料實地調査ニ關スル件)(政府提

出、貴族院送付)

裁判所構成法中改正法律案(政府提出)

恩給法中改正法律案(政府提出)

○古屋委員長 ソレデハ開會致シマス、委

員ノ中ニ辭任セラレタ方ガアリマスカラ、

其ノ點ヲ申上ゲマス、委員永山忠則君、泉

國三郎君、村瀨武男君、松井郡治君、眞鍋

勝君等ガ辭任サレマシテ、其ノ補闕トシテ

小田榮君、星一君、長井源君、則元卯太郎

君、福田關次郎君ガ議長ニ於テ選定サレマ

シタ、松井君ハ理事デアリマスカラ、其ノ

補闕トシテ則元卯太郎君ヲ理事ニ指名致シ

マス、是カラ本委員會付託ノ審議ニ入りマ

ス、便宜上裁判所構成法中改正法律案ノ審

議ニ入りタイト思ヒマスカラ、ドウゾ御説

明ヲ願ヒマス

○木村國務大臣 只今議題ニナリマシタ裁

判所構成法中改正法律案ニ付キマシテ、提

案ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、今回ノ裁判

所構成法中改正ハ、本會議ニ於テ申上ゲマ

シタヤウニ、地方裁判所及ビ同檢事局ノ書

記課ニ、書記長ヲ置クノ途ヲ開カムトスル

一點デゴザイマス、現在裁判所及ビ檢事局

ニ勤務致シマスル裁判所書記ノ總數ハ六千

名ヲ超過シ、其ノ下ニ執務スル雇員其ノ他

ノ職員之ニ倍加シ、加フルニ執達吏、司法

書士等、附屬吏員ノ數モ亦少クナイノデア

リマスルガ、是ガ直接指揮監督ノ任ニ當ル

者ハ、高等官トシテハ僅ニ大審院及ビ同

檢事局、竝ニ控訴院及ビ同檢事局ニ書記長

アルニ止リ、地方裁判所及ビ同檢事局以下

ハ、總て判任官タル監督書記ヲシテ之ニ充

ツル狀態デアリマス、此ノ故ニ少クトモ地

方裁判所及ビ同檢事局ノ監督書記ヲ高等官

ニ昇格セシメテ、部下職員ノ指揮監督ニ萬

全ヲ期スルト共ニ、判任官タル裁判所書記

ノ高等官進出ノ途ヲ容易ナラシメ、其ノ志

氣ヲ鼓舞スルコトハ、司法事務ノ改善刷新

ニ裨益スル所洵ニ大ナルモノアリト思料致

サレマスノデ、差當リ地方裁判所及ビ同檢

ザイマス、何卒十分御審議ノ上、本案ノ通

過ニ御盡力アラシコトヲ切望致シマスル次

第デアリマス

○古屋委員長 此ノ前ノ會ニ政府ノ御説明

ヲ願ヒマシテ、ソレニ對スル質問質疑等ハ

マダ致シマセスガ、今便宜上裁判所構成法

中改正法律案ノ御説明ヲ願ヒマシタカラ、

此ノ案ニ付テ何カ御質問ガアレバ、御質問

ヲ此ノ場合ニシテ戴キタイト思ヒマスガ、

ドウデゴザイマセウカ

○金澤委員 此ノ前ノ届出又ハ委託ニ依ル、

アノ戸籍ノ問題デアリマス、委託ト云フコ

トニ付テノ證據ハ、ドンナ程度マデヲ御認

メニナル御積リデアルカ、其ノ點ヲ伺ヒタ

イト思フノデアリマス、一體只今内縁ノ妻

ノ如キモノハ、戰爭ニ行ク人ガ必ズ戦死ス

ルトハ考ヘテ居ナイモノデスカラ、十分委

託ノ意思表示ガ書面ニ依ツテ遺ルト云フ場

合モアリマセウガ、然ラザル場合ノ方ガ多

イノデハナイカト、斯ウ考ヘルノデアリマ

ス、其ノ場合ニ於キマシテ、實情カラ申シ

マスルト同様シテ居ル、或ハ時ニハ子供モ

アル、而モ戸籍上ノ手續ガ済ンデ居ナイト

云フノガ、實ハ大衆ノ間ニハ開々見受ケラ

レルノデアリマスガ、本來ノ實情カラ申シ

マス、書面ニ依ツテ委託トカ、或ハ叔父

付託議案

會計検査院法中改正法律案(政府

提出)(第六八號)

委託又ハ郵便ニ依ル戸籍届出ニ關

スル法律案(政府提出、貴族院送

付)(第五八號)

大正十一年法律第五十二號中改正

法律案(統計資料實地調査ニ關ス

ル件)(政府提出、貴族院送付)(第

六十一號)

裁判所構成法中改正法律案(政府

提出)(第七八號)

恩給法中改正法律案(政府提出)

(第八一號)

第三回

昭和十五年三月四日

第三回

會計検査院法中改正法律案委員會會議錄

第六類第九號

五

サントカ、叔母サントカ、或ハ兩親等ニ明ニ言語其ノ他言フ場合ガアリマセウガ、然ラザル場合ガ相當多イノデヤナカ、サウ云フ場合ニ於ケル所ノ委託ニ付テノ御取扱ハ、ドウ云フ風ナ工合ニナサラウト云フ御考デアリマス。

○坂野政府委員 御尋ニ御答致シマス、只今ノ委託ハ、必ズシモ書面ニ依ルコトハ要シナイノデアリマシテ、今御尋ノヤウニ、近親ニサウ云フ事實ガアツタト云フコトヲ證明出來ル人ガアレバ勿論デアリマスシ、場合ニ依リマシテ、婚姻ノ相手方ノ婦人自身ノ言フコトヲ正確デアルド裁判所ガ認定致シマスレバ、ヤハリ確認サレルコトニナルデアリマス、斯ウ云フコトニ御諒承ヲ願ヒタイと思ヒマス。

○金澤委員 サウ致シマスルト、例ヘバアトニ殘ツテ居リマスル内縁ノ妻デアルトカ、或ハ其ノ妻ノ近親ノ人デアルトカ云フ者カラノ申出ハ、同棲シテ居ルトカ云フヤウナ現實ノ實情ニ於キマシテ、餘程親切ナル御取扱ヲ爲サル御豫定ニナツテ居リマスルカ、其ノ點ヲ一ツ御同致シマス。

○坂野政府委員 御尋ノ通りニ考ヘテ居リマス。

○金澤委員 モウ一ツ反對ノ場合ヲ一ツ伺ヒタイと思フノデアリマスガ、如何ニモ同棲ハ致シテ居ツタノデアリマスガ、離婚シヨウト云フヤウナ考ノアツタモノノヤウニ實情ガアツタ場合、例ヘバ暫クハ同棲シテ居ツタガ、併シ別居シテ居ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、或ル方面、即チ女ノ方カラハ、恩給其ノ他ノコトガアリマスカラ、是ハ現實ニ委託ヲ受ケテ居ツタ實情ダト申シマス、又男ノ方ノ身内ノ人カラ言フト、

サウデナイト云フコトヲ強ク主張スル場合モアリ得ルト思フノデアリマス、現在ノ實情カラ申シマス、立派ニドウモ入籍シテ居リナガラ、或ハ男ノ方ノ身内カラ、恩給欲シサニ女ヲ離縁シヨウト云フ意味ニ於テノゴタノ、ガ、實ハ到ル處ニアル位デアリマス、デアリマスガ故ニ、ドウモハツキリ入籍シテナイ場合ニ於テハ、餘程其ノ點ガ紛争ガ起ル場合ガアル、サウ云フ際ニ於ケル裁判所ノ扱トシテハ、或ハ非訴事件ノ取扱ニナリマスカ、又ハ公判ノヤウナ扱ニナリマスノカ、其ノ點ノ扱ハドウ云フ工合ニ致シマス。

○坂野政府委員 其ノ場合ハ非訴事件手續法ニ依ツテ判斷スルノデアリマスガ、色々ノ職權調査ハ致シマス、證據調フ色々致シマシテ、其ノ結果適當ナル判斷ヲ下スコトニ致シマス。

○金澤委員 私ハソレデ宜シウゴザイマス。○星委員 私ハ自分ノ體験上司法省ニ考ヘテ貰ヒタイコトガアリマス、ソレハ第一ニ日本ノ法律ハ外國ノ直譯トマデ言ウテモ宜イカト思フ程デアリマス、結局法律ハ人ニ對スル規定デアリマス、然ルニ日本ノ法律ノ中ニハ、人トハ何ゾヤト云フコトガ書イテナイト私ハ思ヒマス、日本ノ臣民ハ兵役ノ義務ヲ有ストカ、納税ノ義務ヲ有ストカ云フコトハ書イテアリマスガ、本當ニ人ノコトデ、其ノ作ルベキモノヲ積極的ニ書イテ居リマセス、皆消極的デアリマス、是ガ東亞新秩序ヲ作り、東亞永遠ノ安定ヲ確立スルト云フノニハ、間違ヒダト私思フテ居リマス、是ハドウシテモ考ヘテ貰ヒタイ、ソレカラモウ一ツハ、裁判ヲスルノニ非常ニ時間ガ掛リマス、時間ガ掛ツテハ、裁判ノ

判決ヲ受ケルコトノ效力ガ無益ニナル場合ガ幾ラデモアリマス、例ヘバ裁判所ガ權利義務ヲ判決確定シテ見テモ、其ノ確定ヲ受ケタ時ニ、何ノ恩惠ニモ與カラナイト云フ場合ハ、民事上ナドニ殊ニアリマス、又刑事上ニ於テモ、其ノ人ノ年齢トカ、社會的ノ地位ノ上カラ云ウテモ、サウ長ク掛ツテハ何ニモナラヌと思ヒマス、ソレデアリマスカラ、是ハモツト早クシテ貰ヒタイノデアリマス、ドウシテ早く出來ナイカト云フコトヲ見マスルト、今ハ徒ニ早クシナイコトニ、組織ト云フカ、組立ガ出來テ居ルヤウニ思ヒマス、民事ナドニハ殊ニサウ云フコトガアル、例ヘバ準備ト云フカ、此ノ準備ニ徒ニ時間ヲ取りマス、準備ハ互ニ材料ヲ持合ツテ、サウシテ次ノモノヲ持合フノダカラ、段々惡イ方ニハ利益ニナルヤウニ持ツテ來マシテ、結局正シイ道カラ横道ヘ行ツテシマヒマス、サウスルト今度判決ヲ受ケルマデニハ、元ヘ戻スノニ骨ヲ折リマス、元ヘ戻スコトガ出來ナイノデアリマス、餘所道ヘ行ツテ、其ノ先ノ所デ判決ヲスルノデアリマスルカラ、是デハ本當ノ裁判ト云フモノデハナイト私ハ思フ、日本ニハ日本ノ國體ガアリマス、是ハ世界無比ノ國體デアリマスカラ、之ニ副フヤウナ裁判ガ欲シイト私ハ思フ、一體裁判官モ、辯護士モ、皆六法全書ヲ見テ、斯ウスレバ勝ツトカ負ケルトカ云フヤウナコトバカリ考ヘテ居リマスガ、其ノ裁判官モ亦辯護士モ、六法全書ハ讀メルデアリマセウ、併シナガラ茲ニ足りナイコトハ、調査ヲスル調査學ト云フ「サイエンス」ガアラウト思フ、其ノ「サイエンス」ヲ教ヘテナイ、ダカラモノヲ調べル時ニ質問ヲスル間ガ分ラナイ、判事ニモ分ラヌ、辯護士ニ

モ分ラヌ、學問ト云フモノハ問ヲ見付ケルノガ學問ダと思フ、學問ト云フモノハ正シイ問、正當ナル問ノ外ニ何ニモナイト思フ、近頃適正價格トカ云フコトヲ言フガ、適正質問ヲ出スノガ所謂學問ダと思フ、其ノ適正質問ガ判事モ、殊ニ檢事ナドモ、サウシテ辯護士モ是ガナイノデアル、ソレハ所謂法律ハ教ヘタ、併シナガラ調査ヲスル其ノ調査學、判斷學ト云フ學問ガ私ハアルト思フ、此ノ學問ヲ無視シテ判決ヲシヨウト云フノダカラ、モウ大變ナコトデアリマス、私ハ自分ノコトデアリマスレドモ、民事ニ於テ損害ヲ要求シテ居リマス、是ガチヤント大審院マデ行ツテ勝ツテ來タ事ナシマスガ、其ノ損害ノ要求ニモウ約十年出入シテ居リマス、十年掛ツテマダ始末ガ付カヌ、斯ウ云フコトデアリマス、第一審ガヤツト濟ンダ、ソレハ準備裁判ヲシテ居ル、モウ今度ハ決定シテ吳レト云ツテ、一昨年南米ニ行ツタ時ニ、又判事ガ元ヘ返シテシマツタ、ソレカラ今度公判ヘ行ツタモノヲ、又モウ一遍準備ニ移ス云トフ譯デアル、斯ウ云フドウシテモ常識デ出來ナイコトヲ判事ハシマス、併シナガラ判事ニ上ツタナラバ、誰モ之ニ干渉スルコトガ出來ナイコトニナツテ居ルカラ、ドウニモナリマセヌヨ、苟モ陛下ノ御名ニ於テ判決スルノデス、ソレハ餘程考ヘタラ宜イト思フ、ドウモ是ハ此ノ儘デハイカヌ、ドウシタツテ私ハ現在ノ思想、此ノ頃ハ戰爭ニ依ツテ大分燃ガ戻ツテ來マシタケレドモ、昭和五年頃、六年、七年アタリハ非常ニ惡ウゴザイマシタ、八年アタリモマダ惡カツタガ、八年以後ハ幾ラカ良クナツタ、ソレハ警視廳モ惡イ、民衆ニ媚ビテ勞働者ヲ煽動シ

モ分ラヌ、學問ト云フモノハ問ヲ見付ケルノガ學問ダと思フ、學問ト云フモノハ正シイ問、正當ナル問ノ外ニ何ニモナイト思フ、近頃適正價格トカ云フコトヲ言フガ、適正質問ヲ出スノガ所謂學問ダと思フ、其ノ適正質問ガ判事モ、殊ニ檢事ナドモ、サウシテ辯護士モ是ガナイノデアル、ソレハ所謂法律ハ教ヘタ、併シナガラ調査ヲスル其ノ調査學、判斷學ト云フ學問ガ私ハアルト思フ、此ノ學問ヲ無視シテ判決ヲシヨウト云フノダカラ、モウ大變ナコトデアリマス、私ハ自分ノコトデアリマスレドモ、民事ニ於テ損害ヲ要求シテ居リマス、是ガチヤント大審院マデ行ツテ勝ツテ來タ事ナシマスガ、其ノ損害ノ要求ニモウ約十年出入シテ居リマス、十年掛ツテマダ始末ガ付カヌ、斯ウ云フコトデアリマス、第一審ガヤツト濟ンダ、ソレハ準備裁判ヲシテ居ル、モウ今度ハ決定シテ吳レト云ツテ、一昨年南米ニ行ツタ時ニ、又判事ガ元ヘ返シテシマツタ、ソレカラ今度公判ヘ行ツタモノヲ、又モウ一遍準備ニ移ス云トフ譯デアル、斯ウ云フドウシテモ常識デ出來ナイコトヲ判事ハシマス、併シナガラ判事ニ上ツタナラバ、誰モ之ニ干渉スルコトガ出來ナイコトニナツテ居ルカラ、ドウニモナリマセヌヨ、苟モ陛下ノ御名ニ於テ判決スルノデス、ソレハ餘程考ヘタラ宜イト思フ、ドウモ是ハ此ノ儘デハイカヌ、ドウシタツテ私ハ現在ノ思想、此ノ頃ハ戰爭ニ依ツテ大分燃ガ戻ツテ來マシタケレドモ、昭和五年頃、六年、七年アタリハ非常ニ惡ウゴザイマシタ、八年アタリモマダ惡カツタガ、八年以後ハ幾ラカ良クナツタ、ソレハ警視廳モ惡イ、民衆ニ媚ビテ勞働者ヲ煽動シ

タ、當時ハ都會ニ於テハ勞働爭議ナドガ多
カツタノデアリマスカラ、サウ云フ惡イコ
トモアリマス、ソレハ非常ニ惡カツタノデ
アリマスケレドモ、其ノ惡イ責任ハ私ハ裁
判所ガ負フベキダト思フ、徒ニ法理論ニバ
カリ走ツテ居ツテ、サウシテ日本ノ國體ニ
副フヤウナ判決ヲ早クシナイ、斯ウ云フコ
トデ、兎ニ角正シイ裁判ノナイ時ニハ、私
ハ國ガ正シク行キニクイト思ヒマス、是ハ
ドウシテモ裁判所ニ於テ、斯ウ云フ事件ガ
アツタカラ、此ノ事件ハ一年デ片付ケルト
カ、是ハ六箇月デ片付ケルトカ、何箇月ニ
スルトカ云フ標準ヲ決メテ戴キタイ、是ハ
アナタノ方デ出來サウナモノト思ヒマス、
例ヘバ亞米利加アタリノ一ツノ例ヲ言フ
ト、布哇デ以テ日本人ノ第二世ガ向フノ人
ヲ殺シタ、サウスルトソレガ六箇月ノ中ニ
死刑ニナツテシマヒマス、早クソレヲ片付
ケマス、外ノ事ダツテ皆早ク片付ケル、所
ガ日本デハソナニ暇ガ掛ル斯ウ云フコト
ハ能ク知ツテ戴イテ、何セ東亞ノ新秩序ヲ
作ツテ行カウト云フノデスカラ、ソレノ手
本ニナルヤウニ是カラ法律モ改正シテ――
法律ノ改正ハ後トシテモ、裁判所ノ心掛一
ツデ私ハ行コトト思ヒマスカラ、是モ御
願シテ置キマス、之ニ付テドウ云フ考ヲ持
ツテ居ラレマスカ、御同致シタイト思ヒマ
ス

○木村國務大臣 星君ノ只今ノ御話ハ、會
テ豫算總會デモ拜聽致シマシタガ、結局現
在ノ裁判ガ、刑事、民事ヲ通ジテ片付方ガ
遅イ、ソコデモウ少シ科學的ノ知識ヲ取込
ンデ、テキパキトヤツテハドウカト云フ御
御意見ニ拜聽致シマシタ、成程今刑事ハ、特
殊ノ事件ニ付テハ大分長クアリマスカ、特

ニ民事ニ付テ訴訟ノ進捗ガ旨ク行カナイト
云フコトノ批判ハ、屢聞クノデアリマス、
ソレデ司法省トシテモ出來ルダケ是ノ進捗
ノ方法ヲ講ジテ居ルノデアリマスガ、御承
知ノ如ク現在ノ訴訟法ノ建前ガ、主トシテ
當事者主義ニ依ツテ居リマシテ、刑事ト違
ツテ職權主義デアリマセヌ爲ニ、ヤハリ關
係人カラ引摺ラレルト云フ點モ、可ナリニ
多クアルヤウニ考ヘテ居リマス、例ヘバ原
告ノ方ハ早クヤリタイト思ヒマシテモ、被告
ノ人ガ敗ケルヤウナ訴訟デアルト、成ベク
之ヲ引張ラウトスル、ソレヲ當事者訴訟デ
アリマスカラ、刑事ノヤウニテキパキト押
切ツテ行ク譯ニイカナイヤウナ狀況モアル
ダラウト存ジマス、司法省トシテモ、事件
ガ早ク結着ヲシナケレバ、態々勝ツテモ何
ノ役ニモ立タナイト云フヤウナ傾向モアリ
マスカラ、其ノ點ニハ特ニ注意ヲ拂ツテ居
リマス、隨テ今星君ノ御指摘ノヤウナコト
ハ、或ハ立法ノ方面ニ於テモ考ヘルベキコ
トガアリマセウシ、又實際ノ取扱ノ上ニ於
テモ考ヘネバナラヌコトガアルダラウト考
ヘマスカラ、御意見ノ所ハ能ク尊重致シマ
シテ、出來得ルダケサウ云フ方面ニ善處ヲ
シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○星委員 序ニ御願シマスカ、例ヘバ斯ウ
云フコトガアリマス、民事ニ於キマシテ、
所謂原告ガ辯護士ヲ代理トシテ訴訟シマス、
サウスルト其ノ原告ヲ證人トシテ喚出シマ
ス、コンナ間違ツタコトガ何處ニアルカ、
原告ヲ證人トシテ、是ハドウダ、是ハドウ
ダト云ツテ、自分ノ方ノ辯護士カラ喚ンデ、
之ヲ記錄ニ取ル、コンナ手數ヲシテ居ルコ
トハ、徒ニ辯護士ニ仕事ヲ與ヘルナラ宜ウ
ゴザイマスケレドモ、斯ウ云フ間違ツタコ

ト、不必要ナコトデ時間ヲ取ツテ居リマス、
是ガ宜イカ惡イカト云フコトハ、常識デ判
斷出來ルコトダラウト思フノデアリマス、
モウ一ツ民事ニ於テ惡イコトハ、原告ヲ原
告扱ヒシマセヌ、ソレハ辯護士ガ代理ヲシ
テ居ルトシテ、原告ヲマルデ第三者ノヤウ
ニ取扱ツテ居リマス、是デ判斷出來マスカ、
原告モ被告モ連レテ來テ、チャント訊問ヲ
シテ、其處ニ辯護士ガ附イテ居ルト云フナ
ラ宜イガ、最初カラ部分々々デ行クノデア
リマス、全般ト云フコトニ觸レテ居リマセ
ヌ、一部ト全部トノ關係ガ分ラズシテ判斷
ガ出來マセウカ、一部ヲ知ルノニハ全體ヲ
知ラズニハ出來マセヌ、一部ト全體トノ關
係ノ分ラヌ判事サン、是ノ分ラヌ辯護士、
之ニ國民ハ甚ダ迷惑ヲシテ居リマス、是ハ
簡單ニ片付クノデス、調査學、判斷學ト云
フ學問ガアリ、過去ノ經歷ヤ、當人ノ人格
モ、總テヲ考ヘル途ハ私ハアラウト思ヒマ
ス、併シ裁判所ニ於テハ、刑事モ民事モサ
ウデスガ、當事者ノ過去ノ歴史ト云フコト
ハ問題ニシマセヌ、日本ノヤウナ國ニ於テ、
過去ノ歴史ヲ無視シテ裁判ヲスルト云フコ
トハ、私ハ正シイ裁判デアルカドウカ分リ
マセヌ、コンナコトハ今日最早何處デモシ
テ居ナイト思ヒマス、唯日本ダケハ其ノコ
トハ其ノコトダ、事件トハ別物ダト云ツテ、
人格モ其ノ人ノ社會的地位モ何モ無視シテ
シマツテ居リマス、一ツノ例ヲ言ヘバ斯ウ
云フコトガアリマス、「フアイヤストーン」
ト云フ「フォード」ノ自動車會社ノ空氣入リ
ノ「タイヤ」ヲ作ツタ人ガ、特許侵害ダト
シテ巡回裁判ノ告訴ヲ受ケタ、其ノ時「フ
アイヤストーン」・「タイヤ」・「コンパニー」
ノ辯護士ハ、人ヲ英國ニ遣ツテ、其ノ原告

者ヲ調査シマシタ、ソシテ十年前亞米利加
ニ歸化シタ人ヲ調査シマシタ、サウスルト
ソレハ前科者デアルト云フコトガ分ツタ、
ソレデ紐育ノ巡回裁判所ニ於テハ「フアイ
ヤストーン」ノ辯護士ガ法廷ニ出テ、原告
ノ當事者ハ斯ク「デアル、自分ノ方デハ
英國ハ遣ツテ調査シテ來タガ、斯クノ
前科者デアル、斯ウ云フコトヲ言ツタラ、
其ノ原告ハ頭ヲ下ゲテ無言デ法廷ヲ退出シ
タ、ソレデ以テ其ノ事件ガ決定シタト云フ、
是ハ有名ナ話デアリマス、所ガ日本デハソ
ナナコトハ問題ニシマセヌ、ソレト是トハ
別ダト云フノデアリマス、惡イ辯護士ガ色
色部分々々デ先ヘ行クナラバ、何ボデモ延
セル、其ノ中ニ死ンデシマフ人ガ中々アリ
マス、事件ガ解決シナイ中ニ死ンデシマフ、
日本デハ今日以テ古ク歐羅巴邊リデヤツテ
居ツタモノヲ維持シテ居ル、サウ云フ處ハ
何處モナイ、皆早イデス、日本ダケソナ
古イコトデヤツテ居ルト云フコトハ、今日
此ノ東亞新秩序建設ノ時ニ當リ、最高ノ「ス
ピード」ヲ要スル時代ニ於テ、斯様ナ點ニ
付テ篤ト御考慮ヲ御願シマス、私ノ質問ハ
是デ終リマス

○金澤委員 今ノ星サンノ質問ニ關聯シ
テ……司法省トシテハ、民事事件ヲ刑事事件
ト同ジヤウニ、職權審理ト云フコトハ困難
デアラウト思ヒマスカ、併シナガラ星君ノ
言ハレル通りニ、モウ少シ早クシタイト云
フコトハ、是ハ常識デアリマス、隨テ民事
事件ニ關シテモ、モウ少シ多ク職權審理ヲ
御進メニナルト云フ御考デアリマスカ、或
ハ又通ルノガ難カシイカラ、當分此ノ儘ダ
ト云フ御考デアリマスカ、其ノ點率直ニ一
ツ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○坂野政府委員 現行ノ民事訴訟法ニ於キ

マシテモ、相當程度ノ職權ガ働ケルコトト存ジテ居リマス、是ノ運用ノ方法ニ色々考ヘ方ガアルドラウト思フノデゴザイマスガ、只今ノ民事訴訟法ニ於テ許サレテ居ル範圍ノ、職權證據調ヲ致スコトニ依リマシテ、大イニ目的ガ達セラレルノデハナイカト思

ツテ居リマス、只今ノ所、之ヲモット強メタ職權主義ニスルマデノ考ハ持ツテ居リマセ

○金澤委員 成程ソレハ民事訴訟法ニ、或

ル程度ノ職權證據ヲ認メラレテ居リマス、併シナガラソレガ現在ニ於テ餘リニ長過ギルト云フコトハ、是ハ皆感ジテ居ル所デアリマス、サウスルト結局、ソレヲ裁判所ニ於テ運用ナサルノニ、甚ダ御上手デナイト云フ御意見デアリマスルノカ、モウ少しシガ實效ノ擧ルヤウナ御考ニ付テ、伺ツテ見タイト思ヒマス

○坂野政府委員 事件ガ思フヤウニ進行シ

ナイト云フコトハ、是ハ吾々モ認メザルヲ得ナイト存ジテ居リマス、隨テソレニ付キマシテ、其ノ運用ノ方法ニモ相當工夫ガ要ルノデハナイカト思ヒマス、春秋二期ニ會同致シマシテ、其ノ點ヲ色々實務上打合ラシテ居ル譯デアリマス、先刻御話ノアリマシタ準備手續ナド、是ハ立法ノ目的トシテハ、當事者雙方ガ出マシテ、隔意ナク事實ヲ陳述スル、サウシテ事實ヲ發見シヨウ、斯ウ云フ目的ノ爲ニ設ケラレタノデアリマスルガ、所ニ依リマシテハ、遺憾ナガラ是ガ爲ニ事件ガ長引イタト云フヤウナ、非難ヲ受ケテ居ルモノモアリマスノデ、十分吾々モ戒心シテ事ニ當ラネバナラヌコトドラウト思ヒマス、大體此ノ頃ハ民事訴訟ニ於キマ

シテモ、當事者ト裁判所ガ互ニ協力シテ眞實發見ニ努メ、而シテ適正ナ裁判ヲスルヤウニ協力スベキモノデアルト云フ觀念ガ、隨分強クナツテ参リマシテ、ソレニ從ツテ段々良イ方ニ向ヒツアルヤウニ考ヘテ居リマス

○古屋委員長 長井君

○長井委員 少シ突拍子モナイ質問ノヤウニ思ハレカモ存ジマセヌガ、私共長年法律ヲ取扱ツテ居リマスガ、仕事ノ始マリカラ疑問ヲ持ツテ今日ニ來タノデアリマス、ソレハ民事訴訟ノ、上カラ勝訴、敗訴ト云フ言葉、ソレカラ攻撃、防禦ト云フ言葉ヲ取

除クコトガ出來ナイドラウカ、斯ウ云フコトデアリマス、民事訴訟ニ於キマス勝ツ敗クルト云フ此ノ言葉ガ、如何ニ訴訟ト云フモノヲ變テコニ考ヘテシマフカ分ラナイト思フノデアリマス、詰リ勝タウトスル爲ニハ、所謂力ニ依ツテ勝ツト云フ考ヘ方カラ、手段ヲ選バナイト云フヤウナコトモ出テ來マスシ、或ハ是ハ刑事上ノ言葉デスケレドモ、免レテ恥ナシト云フヤウナ考モアリマスシ、敗ケタラバ運命的デアルト云フヤウナ考ヘ方ナドモアリマシテ、天皇ノ名ニ於テスルト云フ此ノ裁判ニ於テ、一體勝ツダノ敗ケルダノト云フヤウナ觀念ガ容レラレラウカト思フノデアリマス、勝ツトカ敗ケルトカ云フコトハ、正義ノ觀念ハ含マレテ居ナイト思ツテ居リマス、ソレデスカラ原告ナラ原告ノ申分ガ相立ツトカ、或ハ認メラレルトカ、或ハ認メラレナイトカ、或ハ相立タズト云フ言葉ニ替ヘテ宜イノデアツテ、斯ウ云フ訴訟上ノ勝ツタ敗ケタト云フ、或ハ勝タウ敗ケタクナイト云フ此ノ觀念ガ、非常ニ訴訟ノ途ヲ踏ミ違ヘテ行ク

且ツ裁判ノ上ニ於テモ其ノコトガ現ハレルトコトニナツテ參ル、ソレデ色々考ヘテ見マス、之ニ付テ各方面ノ言分モアルト存ジマスケレドモ、勝訴、敗訴ト云フ言葉ヲ民事訴訟法ノ中カラ除イタラ、如何ニ民事訴訟ガ綺麗ニ行クデアラウカト考ヘルノデアリマス、尤モ昔カラ公事ニ勝ツトカ敗ケルトカ云フヤウニ、勝チ敗ケト云フコトハ言ハレテ來タノデアリマスガ、其ノ時ニハ正義ノ宣言ト云フ事柄ガ、天皇ノ名ニ於テデアリマセヌデシタシ、或ハ力ニ依ツテト云フヤウナ所ガ多分ニアツタノカモ知レマセヌガ、今日ニ於キマシテハ今申シマスヤウナ見地カラ、此ノ言葉ハ除イテ、他ノ言葉ニ替ヘタ方ガ宜クハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス、之ニ對スル司法當局ノ御考ヲ承リタイ、ソレカラ攻撃、防禦、是ハ私詳シク調べテ見タコトハアリマセヌケレドモ、是ハヤハリ直譯カラ來タノデハナイカト思フノデスガ、攻撃ト云フヤウナ言葉ハ、ドウモ穩カデナイ言葉デナイカト思フ、軍人ニハ攻撃精神ト云フノゴザイマシテ、ソレハ城ヲ乗取ラナケレバナリマセヌカラデス、ケレドモ裁判所ニ於テ攻撃、防禦ト云フコトハ、一ツノ修羅場ヲ想出サセル言葉デゴザイマシテ、攻撃デナイ、申立ニ對シテ、ソレノ色々ノ資料ヲ裁判官ニ提供スルコトデアツテ、防禦モ、亦別段相手方カラ言ハレテ防グト云フ意味ヨリモ、寧ろ自分ノ言ヒ分ニ對スル資料ヲ提供スルト云フヤウナ、趣旨デアルベキ筈ノモノデアルニ拘ラズ、民事訴訟ノ中ニハ攻撃、防禦ノ方法ト云フヤウナ言葉ガ出ル、是ハドウモ私ハ適當ナ機會ニ、モウ少し穩カナト申シマスガ、趣旨ニ叶ツタ言葉ニ取替ヘラレテハドウカ、對審ト云フ

コトガアリマスノデ、對審カラ攻撃、防禦ト云フコトガ當然ノヤウニ聞エテ來マシタノハ、是ハヤハリ爭鬭思想的ナ西洋ノ思想ガ根據ヲ爲シテ、日本語ニ直譯サレタ、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマスガ、之ニ對シマスル司法當局ノ御考ヲ伺ツテ見タイ

○木村國務大臣 現在ノ民事訴訟法ハ、御

承知ノ如ク一種ノ刑事法ニナツテ居リマスカラ、隨テ向フノ考ガコチラニ翻譯サレタヤウナ關係デ、ヤハリ攻撃、防禦トカ、勝ツタ敗ケタト云フヤウナ文字ガ使ハレテ、從來ハ大分サウ云フコトニ馴レテシマツテ、今御質問ニナツタヤウナ、餘リ疑惑モ世人ハ起サナカウツヤウデアリマスルガ、成程御意見ヲ拜聽シテ見マスレバ、法文ノ文字ノ上ニモ、將來ニ於テ多少考慮ヲ加ヘテ見ル必要ガアリハシナイカト考ヘテ居リマス、ソレノミナラズ有ユル法規ノ分野ニ互リマシテ、今一應日本のニ考ヘ直シテ、調査研究ヲシテ見タラドウカト云フ氣持モアリマシテ、其ノ方面ニ付テモ、中々急ニハ出來マセヌガ、ボツ／＼司法省內ニ、サウ云フ方面ノ研究調査ヲ始メテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、御意見ノヤウナ所モ能ク考ヘマシテ、更ニ其ノ方面ニ對シテモ、十分ニ考慮ヲ拂ツテ見タイト思ヒマス

○長井委員 ドウゾ改正ノ適當ナ機會ニ斯

ウ云フ言葉ヲ考慮願ヒタイ、ヤハリ言葉ト云フモノガ、色々ナ行動ニ現ハレテ來ル譯デゴザイマス、名ハ體ヲ現ハシテ來マス、民事訴訟法ナドノ旨ク行カナイト云フコトガアリマスナラバ、此ノ邊ノ所ガ深キ根據ヲ爲シテ居ルノデハナイカト云フ氣ガ致シマスカラ、特ニ御考慮ヲ願ヒタイ、次ニハ是ハ何時デモ出ル問題デゴザイマスガ、

法律洪水デゴザイマス、法律洪水ト云フト面白イガ、如何ニシテモ大變ナ法律デスガ、是ハ何トカ整理ヲシタラドウカト云フコトガ民間ニアルノデスガ、之ニハ案ガナイモデゴザイマスカ、餘リ法律ガ多過ギル、多クナラザルヲ得ナイノハ困ルト云フ御考デアアルノデシタラ、ソレニ對スル方法ガアリマスレバ聽カシテ戴キタイ

○廣瀨政府委員 長井君カラ突然御質問ヲ戴キマシタガ、仰セノ通り實際法令ノ公布ガ非常ニ多クナリマシテ、殊ニ此ノ事變關係デ、色々ナ經濟上ノ變化ナドニ基イテ各種ノ法律ガ、相當今マデノ考ヘトハ餘程異ナル所ノアル法令ガ澤山出マシタ、ソレデ前ノ法律法令ト云フモノガ、其ノ儘ニ殘ツテ居リマスカラ、ソコデ如何ニモ非常ニ多クナツタト云フコトハ仰セノ通りデアリマス、併シヤハリ社會國家ガ進歩シテ行キ、國家生活ガ複雜ニナツテ行クト、是ハ殖エ

ルノハ已ムヲ得ナイ、唯長井君ガ御心配ニナル點ハ、法律ガ非常ニ殖エテ相互ノ間ニ矛盾ガアツタリ、撞著ガアツタリ、極端ニ云フト支離滅裂ナヤウナ所ガ時々アル、サウ云フ點ヲ整理統一シテ、國家ノ一貫シタル法制ニシタイト云フ御希望デアラウト思ヒマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、是ハ司法省ト特ニ刑罰關係ナドニ付テハ、非常ニ連絡ヲ取ラナケレバナラス點ガ多イト思ヒマス、法制局トシテモ、從來カラ何トカシテ出來ルダケノ統制ヲ圖ツテ行キタイト云フコトニ付テ考ヘテ居リマスガ、是ハ何カ國家ニ於テモ一定ノ組織ヲ設ケマシテ、出來ルダケ矛盾撞著ヲ排除スル、權衡ヲ失スルヤウナ點ノナイヤウニスル、是等ニ付テ舊法新法ノ間ノ一體性ヲ維持スルヤウニ、

何等カ致サナケレバナラスト思ツテ、色々考究ハ致シテ居リマスガ、未ダドウ云フ組織ヲ設ケテヤルカ云フコトハ、確定的ニ申上ゲラレマセスガ、御説ノ點ニ付キマシテハ、色々考ヘテ居ル次第デアリマス

○長井委員 法制局長官ハ、世ノ中ガ進ンデ來ルト、法律ガ餘計ニ出ルノハ當リ前ダト云フ説ノヤウデゴザイマスケレドモ、事實ハソナ風ニナツテ居リマス、サウアルガ宜イノカ惡イノカ、是ハドウカト思フノデスガ、法律ノ分野ノミニ立範ルト、ソナコトガ出來テ來マスガ、國家生活ト云フモノノ全體カラ眺メテ見マス、サウ一々法律ニバカリ頼ラナクテモ、法律バカリノオ世話ニナラナクテモ、行ケルヤウニアルベキダト思フノデアリマス、ソレデスカラ、昔言ツタ法ハ三章デ足ルト云フ譯ニモ參リマス、マイト思ヒマスケレドモ、一體法律ガ多過ギル、ソレニ頼リ過ギルト云フヤウナ事柄モ、是ハ好マシイコトデハナイ、吾々ガ何ノ法律モ知ラナイデモ、一ツモ觸レナイデ行ケルト云フノガ理想デナクテハナラス、又大體ハ、手續法ナドノコトハ別問題デゴザイマスガ、サウ云フ風ナ工合ニ行クベキガ、私ハ理想デナイカト思ツテ居ルノデアリマス、ソレデスカラ、事實トシテハ多クナツテ來ルノハ已ムヲ得ナイト云フコトハ、私モ認メマスガ、併シ我國ノ國家組織ニ於キマシテハ、法律デ縛ラナケレバナラスト云フヤウナ文明ハ、餘リ衰メタ文明デハナイト考ヘテ居リマスカラ、矛盾撞著ト云フ點ノミデナシニ、是ダケハ示シテアルガ、後ハ法律ナシデ行ケルヤウニト云フ風ナ行キ方デアリタイト、斯ウ私ハ考ヘルノデアリマス、多少理想論デハアリマスガ、御考

慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ其ノ次ニモウ一ツ聽キタイノハ、時局ト刑事處罰ノ問題デゴザイマスガ、檢察官或ハ司法警察官ナドガ、マダ今日デモ時局ダカラ、金ヲ取立テルヤウニ摘發シテ、起訴ニシナケレバナラスト云フヤウニ考ヘテ居ル者ガ隨分アルヤウデアリマス、ソレデ勿論吾々ハ、國民ノ緊張ヲ固ヨリ求メナケレバナリマセヌケレドモ、徒ニ刑罰ノミヲ以テ緊張ヲ所期スルコトノ、到底困難ナコトハ申スマデモナイコトデアリマス、私ハ是ハ實例ヲ持ツテ居ルノデゴザイマスガ、此ノ間モ或ル出征家族ノ親戚ノ者ガ、出征中ノ財産ノ管理ヲ頼マレテ、サウシテ管理ヲシテ居リマス間ニ、五萬圓カアリマシタ預金ノ内二千圓

バカリ一寸一時借りタ、斯ウ云フ話デアリマス、ソレハ親戚デゴザイマスガ、サウシマシタ所ガ其ノ起訴ノ理由ニ、私ハ實ニ驚イタノデゴザイマスガ、武運長久ヲ祈ラズ、還ツテ來タラ犯罪ノ發覺スルコトヲ惧レテ、出征兵士ノ戰死ヲ希フガ如キナドト云フ文句ガアリマス、茲ニ至リマス一寸私ハ常軌ヲ逸シテ居ルト思ヒマス、吾々ハ過ツテ法ヲ犯シマスガ、日本人ガ忠誠ナ國民デアルト云フコトヲ疑ツタヤウナコトハ、是ハ起訴ノ上デモ御免ヲ蒙リタイ、私ハ假令ドウ云フコトガアリマシテモ、日本國民ハ先ヅ忠誠ナ國民デアアル、併シ色々ナコトデ過ツコトハアル、デスカラ過ヲ犯シタカラト云ツテ、ソレヲ直チニ國賊ノヤウナ、忠誠ヲ疑フヤウナ態度ニ出ルト云フコトニナリマス、ヤハリ事件ヲ呪フトカ何トカ云フコトニナリマシテ、長期應戰ノ上ニ非常ニ心配ニナルト云フヤウナ譯デ、斯ウ云フコトニ對スル司法大臣ノ御指導方針ト云フモ

ノハ、ドウ云フコトニナツテ居リマスカ、一ツ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○木村國務大臣 只今御指摘ノヤウナ、起訴狀ガアリマシタカドウカ承知致シマセヌガ、果シテ御指摘ノヤウナ起訴狀ガアリマシタナラバ、實ニ下ラスコトヲ書イタモノト私ハコソデ考ヘテ居リマスガ、何等サウ云フ文句ヲ起訴狀ニ列ベル必要ハ毫末モナイ、唯一般ノ警察官或ハ捜査官ノ氣構ヘトシテ、出征シタ家族ノ平和ダケハ是非之ヲ保タネバナラスト云フコトハ、總テガ持ツテ居ルデアラウト思ヒマス、隨テ其ノ出征家族ノ家庭等ニ何カ害ヲ加ヘルヤウナコトガアリマス、普通ノ場合ヨリモ、多少其ノ方面ノ取締ハ、自然嚴重ニナルト云フヤウナ傾キハアリハシナイカト考ヘテ居リマス、併シ一般ノ上カラ申シマス、既ニ統計ノ上デモ御承知ノヤウニ、此ノ事變以後ニナリマシテカラ、刑事事件ハ全國ニ非常ニ減ツテ居リマス、其ノ減リマシタ現由モ色々考ヘテ居リマスケレドモ、一ツハ警察ノ方デ或ハ手不足ノ點モアリマセウ、色々軍事上ノ方面ノ仕事ガ多クナリマシテ、普通ノ簡單ナ取締罰則ト云フ方ニハ、餘リ手ヲ掛ケテ居ナイト云フヤウナ實情ガ、非常ニ刑事事件ヲ減少セシメタ原因ニナツテ居ルデアラウト考ヘテ居リマス、ソレデ偶、長井君ノヤウナ事件ガオ目ニ觸レタカラ、刺戟ヲ受ケラレタラウト思ヒマスガ、一般ニ於テハ戰時下デア

ヤウナ、最モ惡イ人間ノミニ目標ヲ置キマシテ、普通ノ場合ニ於テハ説諭其ノ他ノ方法デ、殆ド刑事事件トシテハ取扱ハヌ位ナ態度デ居リマス、元來刑罰ト云フモノハ、徒ニ之ヲ摘發スルノガ能デハアリマセズシテ、唯餘リ目ニ餘ルヤウナ者ニ一撃ヲ與ヘマシテ、周圍ニ警戒ヲ與ヘテ、ソレヲ以テ治安ガ維持サレバ、ソレガ一番上々ノモノデアルト存ジマス、疊ヲ叩イテ埃ヲ立テルヤウナコトヲヤリマシテハ、却テ治安ノ上カラモ宜シクナイ、斯ウ云フ方針ヲ持ツテ居リマスカラ、數多イ検事局ノコトデアリマスカラ、サウ云フ方針ト違ツタヤウナ行キ方ガ時々起ルカモ知レマセヌガ、大體ヲ引締メテ行ク方針トシマシテハ、只今申シマシタヤウナ方針デ、刑事事件ノ取締ハヤツテ居ル、是カラモヤツテ行ク積リデゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○長野委員 簡單デゴザイマスカラモウ一ツ伺ヒマス、私ハ刑事事件ヲ長ク取扱ツタ経験カラデゴザイマスガ、一人ノ犯罪人ガ檢舉サレテカラ、獄ニ投ゼラレマスマデノ間ニ於テ、何處カ一回デ宜シイカラ、改悛ノ機會ヲ擲マシタイト斯ウ思フノデス、是ハ警察官ガ警察ニ引張ツテ行ツテ、取調ヲシテ書類ヲ作り、検事局ヘ持ツテ行ツテ、検事局デ若イ檢舉カ何カ取調ベテ裁判所ヘ送ル、裁判所デ斷罪スル、ソレデ刑務所ニ持ツテ行ツテ入レルト云フコトニナリ、惡イト云フコトハ假ニ知ツテ居リマシテモ、改悛スルト云フノニハ、何カソコニ一ツノ機會ガナケレバナラナイ、ソレデ色々ナ所デ使フ者モゴザイマセウケレドモ、併シ裁判所トシテモ、検事局トシテモ、サウ云フ機會ヲ與ヘルヤウナ心構ヘヲシテ戴カナイト、ヤ

ハリ再犯累犯ト云フヤウナ譯デ、改悛ガ出來ナイ、唯僅カ家族デアルトカ、或ハ又辯護人デアルトカ、裁判所ノホシノ僅カナ涙ノ言葉デ悔悟スル、警察署長ノ一寸シタ行爲デ悔悟致シタリスルヤウナコトガアリマスノデ、全系統ノ中デ、常ニ何處カデ改悛ノ機會ヲ與ヘルヤウナ、本人ノ個性ニ應ジマシテ、サウ云フコトニ特別ノ御留意ヲ願ツタナラバ、再犯累犯ヲ少クスル、改悛スルノデハナイカト思フ、一口ニ言ヘバ、罪人ヲ處罰致シマスニハ、事務的ニ取扱ハレルノデハ何ニモナラス、斯ウ云フヤウナコトニナルト、常ニ感ジテ居ルノデゴザイマスガ、ドンナモノデゴザイマセウカ

○星委員 今長井同僚ノ質疑ニ關聯シテ、御答辯ノ前ニ私カラモ御願致シタイと思ヒマス、ソレハ今長井サンノ仰シヤツタヤウナ場合ニハ、家族ニ責任ヲ持タセナケレバナラス、例ヘバ亭主ガ引張ラレテ來マシタ時ニ、其ノ妻ヲ喚ンデ保證サセル、責任ヲ持タセルト云フコトニシテ行クト云フコトガ、私大變宜イコトデアラウ、斯ウ思フノデスガ、日本ハ家族制度デアラカラ、家族ニ責任ヲ持タセテ、妻ナリ、子供ナリ、或ハ親、或ハ其ノ親類ノ者ニ、ソレヲヤツタラ宜カラウト考ヘテ居リマス、長井同僚ノ質疑ハ、洵ニ好イ質疑ダト思ヒマシタカラ一言申上ゲマス

○木村國務大臣 只今ノ長井君ノ御質疑竝ニ星君ノ御質疑ニ御答致シマス、御意見全ク同感デアリマスガ、私が今マデ聞キ或ハ見マス所ニ依リマス、判事デモ檢舉デモ、ヤハリ御意見ノヤウナ考デ事件ヲ調べテ居ルノデハナイカト私ハ思ツテ居リマスガ、唯區裁判所ハ御承知ノ如ク小サイ事件、大

キナ事件ガ非常ニ推ク來マスカラ、或ハ其ノ間ニ御意見ノヤウナ機會ノナイコトガアルカモ知レマセヌガ、田舎アタリノ忙シクナイ所ハ、區裁判所ニ至ルマデ判事、檢事共ニヤハリ御意見ノヤウナ氣持デ、總テ事件ヲ取扱ツテ居ルト信ジテ居リマス、殊ニサウ云フ氣分ガ判事、檢事ノ方ニ一般的ニナリマシタノガ、例ノ思想犯ノ取締以來、サウ云フ氣分ガ寧ロ私ノ考デハ判檢事ノ間ニ横溢シテ居ルノデハナイカ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマスガ、思想犯ニ付テハ、常ニ友人ヲ喚ンデ來マシヤラ、細君ヲ喚ンデ來ル、オ母サンヲ喚ンデ來ルト云フヤウナ方法デ、出來得ルナラバ刑罰ニ依ラズシテ本然ノ性ニ還ラセタイト、一生懸命努力シテ居リマスガ、殊ニ御承知ノ如ク前途アル若イ人デアリマスレバ、非常ニ可哀想デアラカラ、サウ云フ方面ニ全力ヲ傾倒シテ居ル積リデゴザイマス、サウ云フ氣分ガ一般ノ刑事事件ニモ移リマシテ、刑事事件ニ於テハ判事、檢事ノ氣構ヘトシテハ、常ニ御意見ノ通りノコトヲ念頭ニ置イテ取計ラツテ居ルト思ヒマス、又サウナツテ欲シイト考ヘテ居リマス、隨テ將來モサウ云フ取締方針ノ下ニ指導シテ行キタイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス

○淺井委員 只今大分法律ノカト云フコトデ御意見ガ出テ居リマスガ、私モ洵ニ同感デゴザイマス、一體新シイ法律ガ出來マシタ度毎ニ、檢事局ナリ或ハ裁判所ノ方ヘ、其ノ法律ノ内容ガ詳シク傳達サレテ居ルカドウカ、或ハ又之ニ關聯致シマシテ府縣ニモ、ソレハ府縣ノ取締規則トカ其ノ他ノ特別法ニ關係ヲ持チマスル縣令ノヤウナモノガ出テ居リマスガ、サウ云フモノガ裁判所ナリ或ハ檢事局ノ方ニ、其ノ都度ニ御傳達ニナリマシテ、能ク研究サシテ居ルノデアルカドウカト云フコトヲ先ヅ御尋シタイ

○木村國務大臣 内閣カラ出マスノハ、荷モ罰則ノ附キマス限りハ、必ズ司法省ニ合議ガ來マシテ、其ノ合議ニ基イテ法案ノ内容等モ承知シマスガ、罰則ノ附イテ居リマセヌ法案ガ、民法トカ或ハ實體民事法ニ關係ノアルノハ、民事局ノ方ニ合議ガ來マスガ、ソレデ大概内閣カラ出マス法制ナラバ、一應ノ内容ハ承知シテ居ル譯デアリマス、併シ仰シヤツタヤウニ、府縣ノ方ノハ各裁判所、例ヘバ千葉縣ナラ千葉縣デ府縣令ガ出マスレバ、直チニ其ノ方ノ檢事局ノ方ニハ通知スルガラウト思ヒマスガ、全國ノ府縣令ガ大審院ノ檢事局ニハ來ルコトニナツテ居リマスガ、或ハ控訴院其ノ他總テノ所ニ万遍ナク送ツテ貰フト云フコトハ、今缺ケテハ居ナイカト考ヘテ居リマス、ソコデ私嘗テアチラノ方ニ居リマシタ時モ、何トカシテ此ノ府縣令ノ統一ト云フコトヲ考ヘテ見ナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘ、タコトモアリマスガ、府縣令等ニ付テハ、簡單ナ事案ノヤウデアリマスケレドモ、考慮ヲ加ヘテ宜イ點モアルヤウニ考ヘテ居リマスカラ、何トカ將來ニ於テハ、司法省

ニ調査部ノヤウナモノモ出来テ居リマスカラ、其ノ方ニ總テノ法令ヲ集メテ、少シ統一研究ヲシテ見タイト云フ心構ヲ現在持ツテ居リマス

○淺井委員 實ハ斯ウ云フ實例ガアルノデアリマス、是ハ高知縣ノ方デアリマスガ、工業組合法ガ最近非常ニ普及致シマシテ、此ノ工業組合ニ關係ヲ持チマシタ犯罪ガ、非常ニ多クナツタノデアリマス、私モ實ハ其ノ工業組合ノ方ニ關係シテ居リマシタ所、檢事局カラ檢舉サレタト云フノデ、組合長ノ私ヲ喚バズシテ、他ノ理事ヲ喚ンデ居ルノヲ非常ニ不審ニ思ツテ、私自ラ檢事局ニ参リ色々證據致シマシタ、理窟ハアリマシタガ、色々ノ内容ヲ釋明致シマシタ所、一體サウ云フ縣令ガアルト思フノガ間違ヒダ、ソナナ縣令ガアルカト云ツテ檢事ガ聴キマシタカラ、ソレナラ縣令ヲ持ツテ参リマセウ、アナタハソナナコトガアルノヲ御存ジナイノデスカト言フト、ソナナ馬鹿ナ法律ガアルカ、ソレハ有産階級ヲ保護シテ、無産階級ヲ壓迫スル縣令デアルカラ、直チニ取消シテシマハナケレバナラスト言フ、是ハ重要物産ノ指令デアリマシテ、知事カラ其ノ縣令ノ發表ガアリマシタナラバ、特別ノ保護ヲ受ケルノデアリマス、ニモ拘リマセズ一向檢事ハ知ラスノデアリマスカラ、ソレヲ捕ニ取ツテワイノ掛ツテ來ル、最後ニハ檢事ガ其ノ知事ヲ攻撃スルト云フヤウナ始末デ、結局不起訴處分ニナリマシタガ、斯様ナコトデ、新シク工業法ト云フモノガ出来マスト、檢事ノ方モ十分サウ云フ特別法ノ研究ガ足ラスノデハナイカト思ヒマス、ソレカラ或ル組合ノ問題デアリマスガ、私ガ民事ノ裁判デ證人ニ喚バレテ、ソ

レデ裁判長ガ色々聽クモノデスカラ、其ノ組合ノ問題ニ關聯シテ説明ヲスレバ、少クトモ二時間若クハ三時間話サナケレバ裁判長ガ納得ハイカスト思フガ、極ク抽象的ニ答辯ヲシテ宜イノカ、十分知リタイノカト云ツテ聽キマスト、僕ハ全ク組合ト云フヨリモ、法律ノ内容ガ分ラヌカラ、ソレヲ詳細ノ説明シテ吳レト言フ、私達證人ニ立ツテ居ル者モ、其ノ當事者モ、サウ云フ法律ノ内容モ知ラナイト云フ裁判長デハ心細イ次第デアリマス、斯様ナ新シイ法律或ハ組合法ト云フモノガ出来タ時ニハ、十二分ニ徹底シテ戴キマセスト、國民トシテモ、裁キヲ受ケル者ト致シマシテモ、是程ノ不安ハナイト思ヒマスカラ、以後御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス

○庄司委員 司法省關係ノ二法案ニ關シテ質問ノ事項ハ三項ゴザイマスガ、時間ノ關係上「タイトル」ダケ最初ニ簡單ニ申上ゲマシテ、ソレニ連續的ニ御答辯ヲ御願申上ゲタイト思ヒマス、第一ハ、日支事變開戦以來、司法省ガ非常ナ御理解ト御同情ヲ以テ、獄中ニアル所謂受刑者ニ對シテ、召集令狀ガ來タ場合ニ、ソレガ未決ノ者デアリマシテモ、或ハ既決ノ現ニ刑ヲ受ケテ居ル者デアリマシテモ、非常ナ名譽アル應召兵トシテ、獄門ヲ出シメテ、戦地ニ送ラレタト云フコトハ、或ル意味ニ於テ行刑上ノ非常ナ進歩デアル、其ノ爲ニ其ノ應召者ガ、如何ニ感謝ト感激ノ淚ヲ以テ大陸ニ渡ツタコトデアルカ、私ハ曾木克彦ノ書カレタ征ク人裁ク人ヲ讀ミマシタガ、斯ウ云フ人々ガ帝都ダケデ約十五名アルト法曹實錄ニ載ツテ居リマス、此ノ人々ノ中ニハ戰死サレタ方モアリマスガ、中ニハ武運目出タク歸還サレタ兵隊モ

多イヤウデアリス、昨年十月福島ニ開カレマシタ東北司法保護大會ニ於テ、秋田縣ノ一司法保護員ノ話ニ依ルト、秋田縣ニ一人ノ歸還兵ガアル、ケレドモ、彼ハ刑ノ執行停止ノ恩典ニ依ツテ出征シタカラ、殘刑ガアル、今村ニ還ツテ居ルガ、何時檢事カラ殘刑ノ執行ヲ受ケルカ分ラヌノデ、非常ナ不安ト、焦躁ニ襲ハレテ居ルト述ベラレ、ソレ等ノ歸還兵ニ對シテ、何方特別ナ至公至大ナ恩典ニ依ツテ、戦地ニ一箇年ナリ二箇年ナリ矢彈ノ中ヲ奮戦シテ來タ受刑停止中ノ歸還兵ヲ救済スル方法ガナイノデアラウカ、斯ウ云フコトガ、司法保護者關係ニ於テ重大ナ問題トナツテ考究サレテ居リマス、第一ノ質疑ハ、只今申上ゲタヤウナ歸還兵ニ付テ、過般有難クモ恩赦令ノ煥發ガアリ、減刑令ノアリマシタコトハ、受刑者ノミナラズ、民一億ノ感激スル所デアリマスガ、此ノ歸還兵ガ停止ノ恩典ニ浴シテモ、或ハ減刑ノ恩典ニ浴シテモ、其ノ殘刑ガアル場合ニ於テハ、現行法律ノ下デハ、再ビ獄門ニ入ラネバナラストニナツテ居リマス、是等ノ歸還兵ニ對シ、司法省ガ何等カ適當ナル措置ヲ只今御考究ナサレテ、善處ナサル對策ヲ持ツテ居ラレカドウカト云フコトデアリマス、第二點ハ、戶籍寄留事務ハ御承知ノ如ク政府ノ市町村ニ對スル委任事務デアリマシテ、今ヤ人口一億、非常ニ戶籍事務ハ複雑多岐ニ互ツテ參リマシタ、此ノ戶籍事務ハ、非常ニ重要ナ國家社會組織ノ基本ヲ爲スモノデアリマスガ故ニ、全國ノ市町村長ハ、能ク司法省ノ委任事務ノ御命令ヲ守ツテ、市町村ニ依ツテ其ノ定員ハ違ヒマスガ、二名或ハ三名ヲ戶籍吏員ノ補助役トシテ任命シテヤツテ居リマ

ス、而モ委任事務トハ言ヒナガラ、ソレ等ノ經費ハ非常ニ掛ツテ居ル、然ルニ司法省カラハ鏝一文ノ補助金、補償金モ全國一万人ノ市町村ニ交付サレテ居リマセヌ、是ハ交付スル意思ガアツテモ、財政ノ關係上出來ナイノデアルカ、或ハ左様ナコトヲ御考慮ニナツテ居ラレナイノデアルカ、此ノ點デアリマス、願クハ市町村ニ對シテ多少ナリトモ、其ノ條件等ハ別問題デスガ、政府ガ委任シタ事務ヲヤツテ居ル其ノ働キニ對シテ、九牛ノ一毛ニ値スルモノデアリマシテモ、何等カノ精神ト云フモノガ、具體的ニ現ハレテ來テ欲シイモノデアルト云フ、全國市町村ノ輿論ヲ代表シテ當局ノ御考ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、資料デ頂戴致シマシタガ、成程百五十何名カ、市町村ノ永年勤續戶籍吏員ニ對シテ表彰サレテ居ルヤウデアリマス、洵ニ結構デアリマスガ、此ノ戶籍寄留事務ハ、市町村制實施以來六十年間、僅ニ百五十何名ト云フ少數吏員シカ表彰サレテ居リマセヌ、是ハ表彰ノ範圍ガ甚ダ狭イト思フノデアリマス、少クトモ二十年以上勤續ノ町村吏員等ニハ、司法大臣ノ名ニ依ツテ表彰ノ實ヲ舉ゲラレルトコトガ、戶籍吏員ヲシテ更ニ將來自負サセ、其ノ職務ノ獎勵ニモナルコトト考ヘマスルガ、其ノ點如何ナル御感想ヲ御持チデアルカト云フコトヲ、御伺申上ゲタイト思フノデアリマス、ソレカラ區裁判所ヲ單位トシタ關係町村ノ戶籍寄留事務研究會ト云フモノガ全國ニゴザイマス、資料ノ中ニハ協議會ト云フ名前デ、百九十二ノ協議會ガ持タレテ居ルヤウナ御發表デアリマスガ、其ノ區裁判所管轄内ノ市町村ヲ單位トシタ研究會ノ上ニ、御承知ノ如ク府縣ノ地方裁判所

管内ノ聯合研究會ト云フモノガゴザイマス、年ニ春秋二回位ノ聯合研究會ヲ持ツテ居リマス、是等ノ經費ハ只今具體的ノ數字ヲ持ツテ居リマセヌガ、恐ラク數百萬圓ニ達スル諸經費、旅費、日常等ガ掛ツテ居ルト思フノデアリマス、ソレ等ノ研究會等ニ對シマシテ、何等助成ノ政策ヲ執ラレテ居ラナイト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、昭和十五年度ノ司法省ノ戶籍事務ニ關スル豫算ヲ過般瞥見致シマシタ所ガ、千二百圓ト云フモノガ、戶籍事務ニ關スル視察出張旅費ト云フ所ニアツタヤウデゴザイマス、千二百圓ト云フ此ノ少額ハ、戶籍事務ニ關スル限りニ於テハ、ソレハ指導獎勵費デゴザイマセウガ、要スルニ政府ノ大官諸公ノホシノ僅カナ旅費ニシカ該當シナイ千二百圓デアル、ドウモ戶籍事務ノ完璧ヲ期スル上ニ於テ、其ノ指導獎勵費ヲモウ少シ計上サレテ宜イノデヤナイカ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居リマスガ、御當局ハ如何ニ御考ニナツテ居ルカト云フコトノ質問デアリマス、ソレカラ資料ヲ頂戴シマシタ民事局長回答、昭和十二年十一月十八日、民事局長第五百六十號デゴザイマスガ、前後八回ニ互ツテ、應召軍人ニ關スル臨時處置ニ關スル民事局長ノ通牒ガゴザイマスガ、此ノ法案ガ公布實施サレマシタ曉ニ於テハ、今申シタ通牒トドウ云フ關聯ヲ持ツモノデアルカト云フコトノ一點、ソレカラ裁判所構成法ノ改正ガ提案サレテ居ルノデゴザイマシテ、今マデ下積ミトナツテ居ツタ書記ノ諸君ガ、書記長ト云フ高等官ノ奏任官待遇ニ昇格サレト云フ、一步前進デゴザイマシテ、甚ダ結構ナコトデゴザイマス、私共ノ友人ニモ檢事局ニモ、裁判所ニモ三十

年勤メテ、未ダニ判任官デアルト云フ人ガ居ル、ソレヲ見ルト、洵ニ相應ハシイ今同ノ改正法ダト思ヒマシテ、欣快ニ堪ヘマセヌ、ダガナゼモウ一步進メラマシテ、裁判所構成法中ニゴザイマスル廷丁——神聖ナル法廷ヲ取締ル廷丁ト云フ職務ガゴザイマスガ、アノ廷丁ト云フヤウナ名前ヲ、時代ニ順應シタ職名ニ、ナゼ御改正ノ御意圖ヲ御持チニナラナイノデアルカ、私ハ決シテ廷丁ト云フモノヲ蔑ムモノデモ賤ムモノデモ毛頭ゴザイマセヌ、昔明治初年ニ押丁ト云フモノガアツタサウデゴザイマス、所ガ其ノ押丁ガ只今ハ看守トナリ、或ハ代書人ガ司法書士ト云フヤウニナリ、床屋ガ理髮師トナリ、蹄鐵工ノ職工ガ、今回ノ新シイ法律案デ裝飾師ト云フコトニナツテ居ル、產婆ガ助産師トナツテ居ル、斯ウ云フ時代ニ、六十年モ前ノ廷丁ト云フ名前ガ、依然トシテ職名トシテ用ヒラレテ居ルト云フコト——私ハ廷丁ノ中ニモ知己ヲ持ツテ居リマス、四十年モ勤続シタ仙臺地方裁判所ノ今泉隼人ト云フ人ヲ知ツテ居リマスガ、此ノ人ハ親父ハ廷丁ヲシテモ子供ダケハ廷丁ハサセタクナイ、是ハ教育上カラ餘程考ヘナケレバナラスト云フコトヲ、今泉君ナドガ語ツテ居ルノヲ伺ツタコトガゴザイマスガ、而モ此ノ職名ハ他ノ官廳ノ單ナル雜役小使デハアリマセヌ、裁判所構成法ノ基本ヲ成ス所ノ神聖ナル法廷ヲ取締ル所ノ、相當重イ役デアルト私ハ解釋シテ居リマス、ドウカ一ツ廷丁ト云フ名前モ、極メテ敏速ニ適當ノ機會ニ之ヲ改名シテ、適當ノ職名ニナサルコトガ、單ニ物質的ノ待遇ダケガ下級官吏ニ對スル待遇デハゴザイマセヌ、其ノ職名モ相應シイ職名ニ改

正シタルト云フコトモ、精神的ニ大キナ喜ビデアルト考ヘテ居リマス、今申上ダタ廷丁問題ナドニ對シマシテハ、如何ナル御感想ヲ御持チデアルカ、御伺申上ダタイト思フノデアリマス、時間モゴザイマセヌノデ、極メテ簡單ニ御願致シマス

○木村國務大臣 第一ノ點カラ御答致シマスガ、仰シヤツタ事件ハ、刑ノ停止中ト云フ御話デゴザイマシタガ、サウ云フ事案ハ餘リ澤山ハナイデアラウト思ヒマス、假出獄ノ人ハ澤山アルカモ知レマセヌガ、受刑中ニ刑ノ停止ト云フノハ、病氣ノ場合トカ、減多ニヤリマセヌカラ少イト思ヒマス、假ニサウ云フ事件ガ一ツデモ二ツデモアリマシタトシテ、其ノ際向フニ行ツテ非常ニ働イテ來タト云フ人デアレバ、マダ假出獄デナイ人ニ相違アリマセヌカラ、今度減刑サレテ、而シテ刑期ノ三分ノ一ニ達スレバ、假出獄ノ恩典ニ依ツテ出セルト云フ方法ガアリ得ルノデアリマス、現在ノ所デハ、ソレ以上ノ便宜ノ方法ヲ圖ルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、ソレカラ戶籍吏ノ點ノ御話デアリマシタガ、成程戶籍吏ノ今ヤリマスコトハ、可ナリニ人事關係ヲ規制スルノデ、重要ナル事務デアリマスガ、尙ホ助成金等ノ問題ニ付テハ、將來ニ於テ能ク考ヘテ見タイト思ヒマス、ソレカラ戶籍吏ノ表彰ハ、昭和十三年カラ此ノ制度ヲ始メマシタノデ、十三年、十四年ノ二箇年ニシカナリマセヌガ、是カラヤハリ調査シマシテ、功勞ノ顯著ナル者ニ對シテハ、表彰ノ範圍ヲ擴ゲルト云フコトヲ、司法省ニ於テモ目下考ヘテ居ル所デアリマス、ソレカラ研究會等ニ對シテノ費用ハ、現在ノ所ハ市町村ノ手持ニナツテ居ルノデゴザイマス、

區裁判所管内ト云ヘバ、出テ來ラレルモノ、ソレ程ノ費用ガ掛リマスマイ、速クニオ出デニナルト云フコトハ、餘リ澤山ハナイデアラウト思ヒマスガ、ソレ等ノ點ニ付テノ戶籍事務ノ調査研究ト云フコトヲ正當ナラシムルコトハ、御意見モゴザイマスカラ、主務省トシテ將來研究シテ見タイト考ヘテ居リマス、ソレカラ廷丁ノ問題デアリマスガ、成程サウ云フ御考モアリマセウガ、實ハ廷丁ト云フノハ、昔裁判所構成法ガ出來マシタ時分ハ、構成法ノ中ニ認メラレタ一種ノ官職デアリマシテ、當時ノ廷丁ハソレヲ非常ニ名譽トシテ居ツタ時代デアリマス、唯從來ノ待遇ガ惡カッタ爲ニ、自然廷丁ト云フ名稱マデモ、何カ仰シヤルヤウナ氣持ガ出テ來タカモ知レマセヌガ、現在ニ於テモ、構成法ニ認メラレテ居ル一ノ職名デアリマシテ、今度ノ豫算ニ於テモ、之ヲ相當待遇改善ヲシテ、判任官ニスル費用モ出テ居ルノデアリマスカラ、待遇ガ伴ヒマスレバ、構成法所定ノ官名デアリマスノデ、ヤハリ昔ノヤウナ矜持ヲ持ツ職名ニナリハシナイカトモ考ヘマス、併シ尙ホ一般ガサウ云フ風ニ、何トナク廷丁ト云フモノヲ、餘リ役ニ立タナイ仕事ノヤウニ思フ感ジガアルトシマシタナラバ、ソレハ或ハ名稱ノ改正ト云フコトモ、其ノ事務ニ伴フ一ツノ方法カモ知レマセヌ、尙ホ其ノ點ニ付キマシテハ、構成法上認メラレタ一ツノ職デアリマスカラ、慎重ニ考慮シテ見タイト思ヒマス、第五ノ點ニ付テハ政府委員カラ御答申上ゲマス

○坂野政府委員 第五ノ事變發生後民事局長ノ回答、即チ昭和十二年十一月十八日以後ノ本法ト關係ノアル民事局長ノ回答ニ基

イテノ戸籍ノ届出ハ、本案ニ於テドウ云フ
風ニ取扱フカト云フ御尋デゴザイマスガ、
其ノ點ハ本法附則ノ第二項ニ規定ゴザイ
マシテ、サウ云フ戸籍ノ届出ガ受理セラレ
テ居リマス時ハ、ヤハリ一應ハ裁判所ニ確
認ノ申立ヲシテ、確認ヲ得マシタ場合ハ、
總テ本法ト同様ノ取扱ニナル、即チ死亡ノ
時マデ遡ツテ效力ガ發生スル、斯様ナ取扱
ニスルコトニナツテ居リマス

○古屋委員長 尙ホ司法省關係ノ二法案ニ
付テ、御質問ノオ方ガ多數アリマスガ、其
ノ諸君ノ御質問ハ次會ニ御願ヲ致シマシ
テ、時間ガ遅クナツテ御迷惑デスケレド
モ、恩給法ノ御説明ヲ此ノ際法制局長官カ
ラ承リタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 此ノ度提案シマシタ恩給
法中改正法律案ニ付キマシテハ、過日本會
議デ大體御説明申上ゲタノデアリマスガ、
此處デハ稍、詳細ニ御説明致シマス、今回
ノ改正ノ主ナル點ハ三ツアリマス、其ノ一
ハ、現行法ノ加算年ノ規定ノ改正デアリマ
ス、現行法デハ第三十二條第一項第三號ノ
戰地外戰務加算ハ勤務期間ノ一月ニ付一
月半、第三十五號ノ外國鎮戍加算ハ一月ニ付
一月半、第九十一條ノ外地ノ在勤加算ハ一
月ニ付半月ヲ加算スルコトニナツテ居リマ
スガ、戰地外戰務加算ハ、今日ニ於テハ或
ル程度低下スルヲ適當ト認メマシテ、加算
ノ割合ヲ一月ニ付一月ト致シマシタ、又外國
鎮戍加算及ビ外地ノ在勤加算ハ、鎮戍地域
ヤ在勤地ノ實情ニ即シテ、部分的ニハ加算
ノ割合ヲ低下スルノ趣旨ヲ以テマシテ、外
國鎮戍加算ハ一月ニ付一月半以內、外地ノ
在勤加算ハ一月ニ付半月以內ト改メマシ
タ、以上ハ現行法ニ規定シテ居リマス加算

規定ノ改正デアリマスガ、一方デハ各般ノ
情勢ノ推移ニ伴ヒマシテ、新シイ加算ヲ設
ケル必要ガアリマスルノデ、第九十二條ヲ
改正シマシテ、極寒極熱ノ國境警備ニ服シ
テ居リマス公務員ノ爲ニ、一月ニ付二月以
內ノ加算ヲ附ケルコトトシ、更ニ近代戰
重要ノ役割ヲシテ居リマス戰車ノ乗員ノ爲
ニ、其ノ勤務ノ實情ヨリ致シマシテ、新ニ
第三十七條ノ二ヲ設ケマシテ、一月ニ付半
月以內ノ加算ヲ附ケルヤウニシタノデアリ
マス、此ノ戰車加算ノ割合ハ、搭乘日數等
ヲ標準トシマシテ勅令デ定メマス

改正ノ第二點ハ、普通恩給ノ停止規定、即
チ恩給法第五十八條第一項第三號及ビ第四
號ノ改正デアリマス、右ノ第三號ノ規定ハ、所
謂若年者ノ普通恩給ノ一部停止規定デアリ
マシテ、之ニ依リマス四十歳未滿ノ者ノ普
通恩給ハ、其ノ一部ガ停止セラレルコトニナ
ツテ居リマシテ、其ノ中三十五歳未滿ノ
者ハ、一樣ニ普通恩給ノ六分ノ一ニ相當ス
ル金額ヲ停止スルコトニナツテ居ルノデア
リマスガ、今回三十歳未滿ノ若年者ニ對シ
テハ、停止ノ割合ヲ増加シ、普通恩給ノ
四分ノ一ヲ停止スルコトニ致シマシタ、
第四號ノ規定ハ、所謂多額ノ所得アル者ノ
普通恩給ノ一部停止ノ規定デアリマシテ、
現在デハ普通恩給年額ガ千圓以上デ、恩
給外ノ所得ガ五千圓ヲ超エマス者ハ、六千
圓ヲ超エル金額ノ二割ノ金額ヲ標準トシマ
シテ、或ル限度マデ停止スルコトニナツ
テ居ルノデアリマスガ、今回其ノ停止ヲ
受ケル者ノ範圍ヲ擴張スルト共ニ、停止ノ
割合ヲ増加シマシテ、恩給年額千圓以上
デ、恩給以外ノ所得ガ四千圓ヲ超エマス場
合ニハ、五千圓ヲ超エル金額ノ大體一割五

分乃至三割ヲ標準トシマシテ、或ル限度マ
デ停止スルコトニシタノデアリマス

改正ノ第三點ハ、扶助料ヲ受ケマス遺族
ノ範圍ヲ擴張シタコトデアリマス、現在デハ
公務員ノ死亡當時、公務員ト同一戸籍内ニ入
ッテ居ラナイ者ハ、假令公務員ノ死亡後入
籍シマシタ妻ヤ子デモ、公務員ノ遺族トハ
認メラレズ、其ノ爲扶助料ヲ受ケルコトガ
出來ナカッタノデアリマスガ、今回別途御
協賛ヲ御願シテ居リマス、戸籍ニ關スル特
別法デ、委託又ハ郵便ニ依ル戸籍ノ届出ノ
效力ガ認メラレマスコトニナリマスノデ、
恩給法デモ昭和十二年七月七日以後、即チ
支那事變ノ始リマシテカラ後死亡シマシタ
者ノ事實上ノ家族デ、前ニ述ベマシタ法律
デ、公務員ノ死亡ノ時ニ遡ツテ、妻デア
リ子デアアル身分ヲ得マシタ者ヲ遺族トシ
テ取扱ヒ、之ニ扶助料ヲ給スルノガ、此ノ
際銃後施設トシテ肝要デアアルト信ジマシ
テ、之ニ伴フ必要ナ改正ヲ致シマシタ、之
ニ依リマシテ前述ノ如キ妻ヤ子ハ、一定ノ
條件ノ下ニ遺族トシテ待遇ヲ受ケルコトト
ナリマスノデ、從來問題トナリマシタ公務
員死亡後ノ遺族ハ、大體救済サレルト信ズ
ルノデアリマス、尙ホ第十七條ヲ改正シマ
シテ、新ニ内地ノ公立中學校職員等ノ一時
恩給ヲ、俸給ヲ給シマシタ者相互間デ分擔
スルヤウニシ、又次年度カラ内地ノ小學校
教員ノ俸給ガ、府縣費支辨ニナリ、而モ國
庫ヨリ府縣ヘノ交付金ハ從前通り繼續シマ
スノデ、第十八條ヲ改正シマシテ、其ノ趣
旨ヲ現ハスコトニ致シマシタ、尙ホ第三十
八條ヲ改正致シマシテ、不健康ナ業務ニ勤
務シテ居リマス者ニ附ケマス不健康業務加
算ノ要件ヲ、多少緩和スルコトト致シマシ

タ、以上ガ本案ヲ提出シマシタ理由デアリ
マスガ、尙ホ詳細イコトハ御質問ニ應ジマ
シテ御答致シマス、何卒御審議ノ程御願致
ス次第デアリマス

○古屋委員長 時間モ大分遅ウゴザイマス
カラ、本日ハ此ノ程度デ止メマシテ、次會
ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス、本日は是
ニテ散會致シマス

午後零時十分散會

昭和十五年三月四日印刷

昭和十五年三月五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局